

専修寺蔵

『尊號眞像銘文』

(広本)

総索引稿

金子彰
野村貴郎・大野耕司編
中川朋之・山口豊

凡例

一、本総索引稿は、重要文化財、三重県津市、高田専修寺蔵本、親鸞聖人写の『尊號眞像銘文(広本)』に用いられている総ての語を、複製本『親鸞聖人真蹟集成(第四卷)』(法蔵館)に基づいて収めたものである。

一、親鸞聖人写『尊號眞像銘文(略本) 総索引稿』(重要文化財 福井県法雲寺現蔵)は、『兵庫教育大学研究紀要』(第八巻 2号、昭和六三年三月)に、金子彰・森佐奈恵編で掲載している。

一、本『尊號眞像銘文』は、真宗で礼拝の対象としている、南無不可思議光如来・帰命盡十方無碍光如来など尊號、善導・源空・源信・聖覚・親鸞・勢至・龍樹・曇鸞・聖徳太子の画像の上下に書かれた銘文を集めたものである。編者は明記されていないが聖人自身であることは疑いない。尚、広本の二冊目の末尾に二十四行の本文とは別筆がみられるがこれは不採録とした。

一、広本、略本はそれぞれ以下の書写識語をもっている。

(広本) 「正嘉二歳(一二五八) 戊午六月廿八日書之 愚禿親鸞 八十六歳」

(略本) 「建長七歳(一二五五) 乙卯六月二日 愚禿親鸞 八十三歳 書寫之」

一、書中で引用されている銘文は、本総索引稿の末尾に一括して掲げた。

一、見出し語について

1、見出し語は、平仮名で歴史的仮名遣(字音語は字音仮名遣)を原則に統一した。

a、和語には、私に濁点を付した。

b、漢字の読み方は、底本に付されている仮名訓によることを原則とした。それ以外は、呉音を原則とした。

c、字音語の清濁は、底本に差されている朱声点を複製に依って判読して参照した。尚、略本にのみ見られる朱声

点によって清濁を確認したものも多い。

- 2、排列は、最終音節までの五十音順とした。
- 3、参照項目を設け、複合語の低位要素からも検索できるようにした。又、接頭語、接尾語も空見出しとし、そこから、その要素を含む単語を本項目として参照することが出来るようにした。
- 4、見出し語は、単語を原則とした。

a、動作性の漢語にサ変動詞「す」の付いた形は、一語として扱った。

b、状態性の漢語に「なり」の付いた形は、二語として、漢語に助動詞「なり」の付いた形として扱った。但し、和語を語幹とする所謂形容動詞は、一語として認めた。

c、書中で引用されている銘文は、単語単位で掲出しないで、分割せずそのままの形で掲出した。

一、用例について

1、用例は、底本の文字を現行の表記様式に直して掲出した。底本の誤脱と判断されるもの等は一切手を加えなかつた。

2、朱筆箇所は、複製の判読できる箇所を(朱と注記するか、又はその右傍に傍線を引いたり



で囲んで示した。

3、用例の引用は、以下の通りとした。

a、自立語・付属語とも、原則として当該語のみを示した。

b、但し、活用語は、その用法に応じて下接語(又は語句)も示した。

4、用例の所在は、以下の通りとした。広本は本末の二冊からなり、用例も本末で所在を示した。

a、漢数字は、底本の複製本の頁である。

b、算用数字は、当該語のその頁での出現行数である。(本四五三は本の四五頁の3行目)
5、用例の排列基準の主なもの、以下の通りとした。

a、無活用語は、出現順に排列した。

b、活用語は、未然形・連用形・終止形・連体形・已然形・命令形の順に排列した。

c、同一単語で用例の表記が全く同じ場合には、初出例の下にまとめて示した。

付記、本総索引稿の編者の現職(平成八年十月)は以下の通りである。

金子彰(東京女子大学) 野村貴郎(武庫川女子大学) 大野耕司(兵庫県神戸市立本庄中学校)

中川朋之(兵庫県立兵庫高等学校) 山口豊(兵庫県立姫路北高等学校)

尚、左記の二氏の助力を得た。

小泉秀樹(三重県白山町立白山中学校) 北川真弓(兵庫県立飾磨工業高等学校)

あ

- あかつき(眺) 末巻5巻1
- アカツキ 末巻5巻1
- あきらかなり(明) 本巻2
- アキラカニ 末十5四4
- カキラカニ 末三1
- アキラカナル 末六4
- あくくゑあくじん(悪鬼悪神) 本八〇4
- 悪鬼悪神 本八〇4
- あくこふ(悪業) ↓ばむなう
- あくごふ
- あくしゆじねんへい(悪趣自然閉) ↓わうせちごあくしゆ
- あくしゆじねんへい
- 悪趣自然閉 本一九6
- あくじん(悪神) ↓あくくゑ
- あくじん
- あくじん
- あさたいし(阿佐太子) 本八六1
- 阿佐太子 本八六1
- 阿佐太子 本八七3八3
- あし(足) ↓みあし
- あしたふ(与)
- アタハスト 末四6
- アタフルニ 本三3
- あぢはひ(味) 末五5
- アチワイ
- あづかる(与) 本八二6
- アツカラスト
- アツカルモノ 本七3
- あのくぼだい(阿耨菩提) 末四2
- 阿耨菩提
- あひかなふ(相叶) 本五6
- アヒカナヘリ
- あひつぐ(相繼) 本三5
- アヒツクト
- あふ(会) 本三1
- アフテ
- あぶぐ(仰) 末六6
- アオキ
- あまねく(遍) 末八4
- アマネク
- あまる(余) 本七5
- アマレル
- あみだ(阿弥陀) 本三六三5
- 阿弥陀
- あみだによらい(阿弥陀如来) 本三〇四二
- 阿弥陀如来
- あみだぶち(阿弥陀佛) ↓な 〇6三5
- もあみだぶち
- 阿弥陀佛 本四5〇1
- 阿弥陀佛 本六4
- あらはす(表) 本七4七6
- アラハシ
- アラハシ・タマヘル本三5
- アラワシ 末六4
- アラハス(連体法) 本三六三1五3
- アラハセリ 本五6
- あらはる(現) 本四4
- アラハレタマフナリ
- あり(有) 本六5三六八4
- アラス
- アラサル 本八二1
- アリ 本四六四6
- アリト 末四二元四三二
- アリト 三六
- アル(連体法) 本三三二九4
- アルヘカラスト 末巻1
- アルヘシト 本三3
- ありがたし(有難) 本三2
- アリカタキ
- あわつぶ(泡粒) 本三3
- アワツフ
- あんやう(安養) 本一七5
- 安養
- あんやうじやうせち(安養淨刹) 本三三2
- 安養淨刹
- あんやうじやうせち(安養淨刹) 本三三2
- 安養淨刹
- あんらく(安楽) 末五5
- 安楽
- あんらくこく(安楽国) 本四6
- 安楽国
- あんらくじやうせち(安楽淨刹) 本三三六三4
- 安楽淨刹
- あんらくじやうせち(安楽淨刹) 本三三六三4
- 安楽淨刹

安樂浄土 本七1七6三2

イタラシムルヲ 本四5

安楽世界 本五2

イタルト 本三3四2

あんらくせかい (安楽世界)

イタル 本三1

い

イタルヲ 本二五3

いち (一)

末八6九1

いち (一)

末八6九1

い (易)

末三6三1

いちかうせんじゆ (一向専修)

いかだ (筏)

末四4

いちきやう (一行)

イカタ

末四4

いぎやう (易行)

末三5

いちさいしじゆ (一切衆生)

いぎぬしよし (以疑為所止)

末三5

いちさいぜんこん (一切善根)

いしぎこ (以斯義故)

本七2

いちさいぜんこん (一切善根)

いじやう (已上)

本七5

いちさいぜんこん (一切善根)

いしんゐのうにふ (以信為能入)

本七5

いちさいぜんこん (一切善根)

以信為能入

末四5

いちしやう (一聲)

いただき (頂)

末四5

いちしやう (一聲)

いたる (至)

本四1

いちしむ (一心)

いちねむきあいしむ (一念喜愛心)

いちねむきやうき (一念慶喜)

いちもん (一門)

いづ (出)

イテサセタマヒシ

イテサセタマフ

いねむぶちしむ (以念佛心)

いのうすいはむみやうあむ

いのち (命)

いはく (云・曰)

イハク

いふ (言・云・曰)

尋常

横ハ

閉ハ

昇ト

染香人

イフ

本八3

本八6

本三3

本三1

いまだ(未)

イマタ

迂ウヅル 迂ウヅル

本九二ノ九三

ウル也

末三二

要術ウヅルヒサチノユナレ

末二一

いる(入)

イラムト

う(得)

↓こころう・さとり

うし(牛)

末四二

えらぶ(選)

末九六三二一三二一

イリテ

エシム

うたがひ(疑)

本三二四四六

えんぎ(縁起) ↓ごえんぎ

三二五

イリヌレハ

本九一

エヌ

本八六

うたがふ(疑)

本五五

えんげち(演説) ↓でんどう

イルヘシト也

本六六

エム

本七二

ウタカハサレハ

本五五

えんげち

本八二

イルトナリ

本六六

エムニ

本七二

ウタカフ(連体法)

末三三三三四三三六

演説

本八二

イレト也

末九六

エタマフ

本六一

ウチ(内)

本四二

お

本八二

いる(鏡)

イマイラセタリ

本六五

エタラム

本四二

ウチ

本四二

おうじ(應時)

本四二

いわう(易往)

易往

エタル

本六二

うぶちしゆつせみやうむりや

おうじみげんじん(應時為現身)

いわうにむにん(易往而無人)

易往而無人

エタル

本三三

うくわう(有佛出世名无量光)

應時為現身

本四一

いん(因)

因

エツレハ

末三二

うやまふ(敬)

本三二

おくす(憶)

本三六

いんち(因地)

因地

エテ

末三三

え(依)

末三三

おくる(送)

本三七

いんる(因位)

因位

ウヘシ

本七四

え(依)

本四三

オクラレタマヘル

う(迂)

ウルト

ウル

本二二

えう(要)

末二二

おそし(遅)

末三三

う(迂)

ウルト

ウル

本二二

えうじゆち(要術)

末二二

オソキ

末三三

おなじ (同)

オナシキ 本三六三九二

おのおの (各)

オノノノ 末六〇二

オノオノ 末六〇三

おのづから (自)

オノツカラ 本三三三三三

おはします (御在)

オハシマス 本七七一八九三

六九六

おはず (御在)

オハセシ 本五六一九四

おほきなり (大)

オホキニ 本三三二

オホキナル 末三三三三三

末三三三三三 本五二四

おほし (多)

オホカラス 本三三三

オホカラス 本三三三

おほしめす (思召)

オホシメシテ 本七七六

オホシメス 末五二一五二

五五

おほせこと (仰言)

オホセコト 末〇〇一

おほふ (覆)

オホハルレトモ 末五三三

五六

オホヘル 末五二六

おもし (重)

オモシカラス 本三三三

オモク 末三三三

オモキ 本二二二二

末三三

おもひしる (思知)

オモヒシルヘシ 末三三三

おもふ (思)

オモハ、 末三三三三

オモフト 本三三三

オモフ (連体法) 本三三三

末三三

オモフニ 本三三三

オモフニ 末三三三

オモヘト 本七七三三

オモヘト 末六二二二二

おもむく (赴)

オモムクヘシ 末五二六

オモムクヘシ 末五二六

おむ (御) ↓おむかたち・おむころろ・おむちかひ・おむ

むつかひ・おむめぐみ・おむをしへ

おん (恩)

恩 末三三三

おむかたち (御形)

御カタチ 本八三三

おむころろ (御心)

御ココロ 本三三三三

おむちかひ (御誓)

御チカヒ 本四六三

おむちかひ (御誓)

御チカヒ 本四六三

八二末五

おむつかひ (御遣)

御ツカヒ 本三三三

おんどく (恩徳)

恩徳 末三三三

おむめぐみ (御恵)

御メクミ 末六三

おむめぐみ (御恵)

御メクミ 末六三

おむをしへ (御教)

御オシエ 末三三三三

か

が (我)

我か 本四三三二

が (助詞)

染香人 本三三三

染香人 本三三三

海 末三三三

かい (海) 末三三三

かいけん (皆見) 末三三三

皆見 末三三三

かいしちたうひこく (皆悉到彼國) 末三三三

皆悉到彼國 末三三三

がうえん (強縁) 本三三三

強縁 本三三三

かうせい (高齋) 本三三三

高齋 本三三三

かうせいししよ (高齋之初) 本三三三

高齋之初 本三三三

かうばし (香) 本三三三

カウハシキ 本三三三

カウハシキ 本三三三

がえしゆたらしんじちくどく (我依修多羅眞實功德相) 本三三三

我依修多羅眞實功德相 本三三三

がえしゆたらしんじちくどく (我依修多羅眞實功德相) 本三三三

我依修多羅眞實功德相 本三三三

がえしゆたらしんじちくどく (我依修多羅眞實功德相) 本三三三

我依修多羅眞實功德相 本三三三

行者キヤウシヤ 本二3 三1 八6

末六2

ぎやうす(行) 行スル 末九1 九2

きやうでん(経典) 経典 本四5 四3 五2

きやうらいくぜくわんおむだ

いぼさち(敬礼救世観音大菩薩)

敬礼救世観音大菩薩キヤウライクセクワンオムダイホサチ

きやうらいくぜだいじくわん

おむぼさち(敬礼救世大慈観音菩薩)

敬礼救世大慈観音菩薩キヤウライクセクワンオムダイホサチ

きらふ(嫌)

キラハヌコトヲ 本七6

キラハス 本五3

キライ 本二3

きり(霧) 末五5 癸3 癸5

キリ 末五4

きる(切) 本二5

キルト 本二5

キルナリ 本元6 末六2

く(接尾語) ↓いはく・まう

くす(具) 具スレハ 末五5

くぜくわんおむ(救世観音)

救世観音クセクワンオム 本六2 八九2

くぜぼさち(救世菩薩)

救世菩薩クセホサチ 本八七5

ぐそく(具足) ↓ぼむなうぐ

くたく(碎) くだく 末四3

ぐち(愚癡) 愚癡グチ 末三1

ぐどく(功德) 功德グトク 本三6 三6 三2

ぐとく(愚禿) 愚禿 末六3

くに(国) くに 本三2 三2 四4

クニ 本三2 三2 四4

くはし(詳) クワシフ 本五3

くも(雲) クモ 末三3 三5 癸2

クモ 末三3 三5 癸2

クモ(朱墨重ね書) クモ 末五4

くやく(舊譯) 舊譯クヤク 本四2

くらし(暗) クラシト 末四6

くらゐ(位) クラキ 本九1 二四1 二四5

くわしやう・ぜんだうくわ

しやう・どむらんくわしや

う・ほふいんせいかくくわ

しやう

和・尚ワ・ショウ 本五3

和尚ワ・ショウ 本五3

くわんおむせいしとう(觀音勢至等)

觀音勢至等クワンオンセイシトウ 末十4

くわんしやうあんらくこく(願生安樂國)

願生安樂國クワンシヤウアンラクコク 本四3

くわんしやうがこく(願生我國)

願生我國クワンシヤウカコク 本五5

ぐわんじやうじゆ(願成就)

願成就グワンジヤウジユ 末四七4

ぐわんす(願) 願セハ 本五5

くわんひせかいさうしよく(觀彼世界相勝三界道)

觀彼世界相勝三界道クワンヒセカイサウシヨク 本五1

くわんぶちほんぐわんりきぐ

くわんぶちほんぐわんりきぐ

くわんぶちほんぐわんりきぐ

くわんぶちほんぐわんりきぐ

くわんぶちほんぐわんりきぐ

むくくわしや (観佛本願力遇
无空過者)

観佛本願力遇无空過者

本五5

ぐわんりき (願力) ↓じよう

がぐわんりき

願力 本二六三二一七三

六二

末三三四二五1

願力 本五1七二

ぐわんりきせふとくわうじや

う (願力攝得往生)

願力攝得往生 本七五

ぐる (魏)

魏 本五五五1五5

魏 本五五3

くろおじやうど (歸於浄土)

歸於浄土 本三六5

くろす (歸)

歸セシムト 本七1

歸スヘシト也 末三1

くろにふす (歸入)

歸入シヌレハ 末三4

ぐるまち (魏末)

魏末 本五4

くるみやう (歸命)

歸命 本四二四三空2

六五3

くるみやうじんじふはうむげ

くわうによらい (歸命盡十方

无碍光如来)

歸命盡十方无碍光如来

本四1

くるみやうす (歸命)

歸命シ 本四6

歸命スレハ 本二1

ぐるやく (獲)

獲 本二2

ぐろやく (逆)

逆 本三4

ぐるやくしんけんきやうとく

だいきやう (獲信見敬得大慶)

獲 信見敬得大慶 末五1

くろ (化)

化 末三1

くろこむとう (華嚴等)

華嚴等 末三1

くろしん (化身)

化身 本二4

くろちぢやうす (決定)

決定シテ

本四3

くろど (化土)

化土

本三5

くろぶち (化佛)

化佛

末三3

くろぶちぼさち (化佛菩薩)

化佛菩薩 末十一13

くろもち (化物) ↓ぼだうく

くろもち 末三1

くろんく (源空) ↓ぎさいぐ

源空 末二4

くろんくしやうにん (源空聖

人) 末七1七2

くろんじんくわしやう (源信

和尚) 本三4

くろんまう (群萌) ↓よくじよ

群萌 末五2

け (氣)

本四2

げ (偈)

本五2

けう (教)

末四4

けううぜむどむ (教有漸頓)

末元6

けうしゆせそん (教主世尊)

本四5

けうちよく (教勅)

本五6

げし (下至)

本七4

げしじふしやう (下至十聲)

本七2

けだい (懈怠) ↓どんこんけ

だい

げちせんざいしるいしむひふ

じやうどしもん (下智浅才之

類振臂赴浄土之門)

下智浅才之類振臂赴浄土

之門

末元4

末四六五二六二

二一三三六五

四四四一五九四

本契一契二

本二二四二九一

一九二六二四六

四六四三六五五

四三三三六六一

四六六六七三

本六六六七三

八五〇一

末言四言五三三三

三三言一三二四

四四言二四五五

五五言三三六六

六六言四二七七

七七言五一八八

八八言六〇九九

九九言七〇〇〇

〇〇言八〇〇一

〇一言九〇〇二

〇二言一〇〇〇三

〇三言一〇〇〇四

〇四言一〇〇〇五

〇五言一〇〇〇六

〇六言一〇〇〇七

〇七言一〇〇〇八

〇八言一〇〇〇九

〇九言一〇〇一〇

一〇言一〇〇一一

一一言一〇〇一二

一二言一〇〇一三

一三言一〇〇一四

一四言一〇〇一五

一五言一〇〇一六

一六言一〇〇一七

一七言一〇〇一八

コエテ 本一六六末五九一五九三

こらむず (御覽)

御覽シ 末四四一五

これ (之)

コレ 本五二二六二二一

コレ 四四四六六六五

コレ 三三三三三三三

コレ 二二二二二二二

コレ 一一一一一一一

コレ 〇〇〇〇〇〇〇

コレ 九九九九九九九

コレ 八八八八八八八

コレ 七七七七七七七

コレ 六六六六六六六

コレ 五五五五五五五

コレ 四四四四四四四

コレ 三三三三三三三

コレ 二二二二二二二

コレ 一一一一一一一

コレ 〇〇〇〇〇〇〇

コレ 九九九九九九九

コレ 八八八八八八八

コレ 七七七七七七七

コレ 六六六六六六六

コレ 五五五五五五五

コレ 四四四四四四四

コレ 三三三三三三三

コムシヤウ 今生 本三三二

ごんせふしやうぞうじやうえんじや (言攝生増上縁者)

言攝生増上縁者 本六六三

こむだう (金堂)

金堂 本八七五

こむどう (金銅)

金銅 本八五九

金銅 本八五九

金銅 本八五九

ごんなんもしや (言南无者)

言南无者 本六五二

ごんわみだぶちしや (言阿弥陀佛者)

言阿弥陀佛者 本六六三

ごんわみだぶちしや (言阿弥陀佛者)

言阿弥陀佛者 本六六三

ざ (座)

座 本元四

さいご (最後)

最後 本三三三

さいご (罪業)

罪業 本三三五末元三

さいごりむじゆ (最後臨終)

最後臨終 本七五六

さいごりむじゆ (最後臨終)

最後臨終 本七五六

さいごりむじゆ (最後臨終)

最後臨終 本七五六

さいじやうりやうくわん (裁成兩卷)

裁成兩卷 (サイセイリョウケン)

さう (相)

相 (サウ)

さう (像)

像 (サウ)

さうけいいちこふ (相繼一劫)

相繼一劫 (サウケイイチコフ)

さうわう (蕭王)

蕭王 (サウワウ)

さかさま (逆)

サカサマ

さき (前)

サキノ世 (サキノヨ)

さしおく (差置)

サシオクヘシト也

サシオケト也

さす (助動詞)

サセタマヒシ

サセタマフヲ

サセタマヒタリ

さだまりなし (定無)

サタマリナキホト 本七 4

さだまる (定)

サタマラストナリ 末三 4

サタマリヌト 本六 4

サタマルト 本九 2 元 2

サタマル・クラキ 本五 1

サタマルヲ 末六 5

さだむ (定)

サタメサルコトヲ 本七 5

さとり (悟)

サトリ 本六 3 三 6

さとりう (悟得)

サトリウルト 本六 4

さとの (悟)

サトリタマフト也 本五 2

サトルト 末四 5

サトル・タネナリ 末五 3

サトルヲ 末五 6

さはり (障)

サワリ 末五 6

さはる (障)

サワルコト 本六 3 四 3

さふ (障)

サエラレサル也 本六 5

サエラルトナリ 末四 4

ざぶぎやう (雜行)

雜行 (ザブギヤウ)

ざぶぎやうざぶしゆ (雜行雜修)

雜行雜修 (ザブギヤウザブシユ)

ざぶしゆ (雜修)

うざぶしゆ (雜修)

ざり (助動詞) ↓ ず

ざる (猿)

サル 末三 3 三 4

ざる (去) ↓ ゆきざる

サルト 本七 2

さむぎひやくだいこふ (三祇百大劫)

三祇百大劫 (サンキヒヤクダイコフ)

さむくわん (三卷)

三卷 (サムクワン)

ざむぐゑす (懺悔)

懺悔スルニ 本六 5

さむごく (三國)

三國 (サムゴク)

さむごくちもん (三國知聞)

三國知聞 (サムゴクチモン)

さむじ (三字)

三心 本三 5

さむじむ (三心)

三心 (サムジム)

さむぶ (三部)

三部 (サムブ)

さむぶだいじよう (三部大乘)

三部大乘 (サムブダイジョウ)

さむろんほふさうしけう (やうげんいめい) (三論法相之教)

三論法相之教 (サムロンホフサウシケウ)

牛羊眼易迷

三論法相之教牛羊眼易迷

さむろんほふさうしけう (三論法相宗等)

三論法相宗等 (サムロンホフサウシケウ)

し

し (之) ↓ しよゐしんごんし

くわんしぎやう

じ (自)

じ (助動詞)

じト 本九 5 十 2 七 1

しかり (然)

シカラシメテ 本三 6

未完2

しかれば(然)

シカレハ 本三三

三四4三1末四6

しくわん(止観) ↓しよゐし

んごんしくわんしぎやう

止観 末三三1

しくわんしぎやう(止観之行)

↓しよゐしんごんしくわん

しぎやう

しじふくさい(四十九歳)

四十九歳 本七一

四十九歳 本七二

しじふはちぐわん(四十八願)

四十八願 本三六

しじふはちぐわんちうせち

(四十八願中説) ↓によむり

やうじゆきやうしじふはち

ぐわんちうせち

ししや(使者) ↓ゐしやくそ

んしししやくねむぶちしい

ちもん

ししやう(四生) ↓ろくだう

ししやう

四生 本二六五

ししゆ(師主)

師主

末四一

ししむ(至心)

至心

本四5五1

ししむしんげう(至心信樂)

至心信樂 本四4六1

六4六6八4九6四5

ししむしんげうぐわんゐん

(至心信樂願為因)

至心信樂願為因 末四6

じせち(時節)

時節 本七4八3

しそくぜぐわんわうじやうぎ

やうにん(此即是願往生行人)

此即是願往生行人

しそくみやうわちかうくわう

しやうごむ(此則名曰香光莊)

嚴 此則名曰香光莊嚴

した(下)

シタ 末五4

したがふ(従)

シタカヒテ 本六4

シタカフテ 本六2末三1

シタカフ・コ、ロ 本四4

したふ(慕) ↓こひしたふ

ねがひしたふ

じちふたいてん(自致不退轉)

自致不退轉 本三4

じちほうど(實報土)

實報土 本二5三2三6

末五1三1

して(助詞)

シテ 本六2四1三6三4

末六2四4三5三5三4

じねん(自然)

自然ト 本二42

三5三1六1

じねんししよけん(自然之所)

率) 本三1

自然之所率

自然之所率 本四4

じねんに(自然)

自然ニ 本四4一八4

三4三6四5三6七6

じねんへい(自然閉)

自然閉 本三2

しばらく(暫)

シハラク 末元4元4三5

じふしやう(十聲) ↓げしじ

ふしやう・ないしじふしや

う

十聲 本七4

じふにくわう(十二光)

十二光 本三2

じふにくわうぶち(十二光佛)

十二光佛 本三5

十二光佛 本三3三6

じふにど(十二度)

十二度 本三5三4

じふによらい(十二如来)

十二如来 本三1

じふによらいさうけいいち

こふ(十二如来相繼一劫)

十二如来相繼一劫 本三6

じふにゐいしやう(十二類生)

十二類生 末四1

じふねむ(十念) ↓ないしじ

ふねむ 本八1

十念 本八1

じふほう(十方)

十方 本四3六1

十方 本七4

じふはういちさい(十方一切) 本二五

じふはうしじゅう(十方衆生) 本二五

常(シヤウ) 末五三

じやうい(正意) 末五三

正意(シヤウイ) 末五三

じやういん(正因) 末六一

正因(シヤウイン) 末六一

じやうかさい(正嘉二歳) 末六一

正嘉二歳(シヤウカサイ) 末六一

じやうぎやう(正行) 末三三

正行(シヤウギヤウ) 末三三

じやうぎやうじよこぶ(正行助業) 末三三

正行助業(シヤウギヤウジヨコブ) 末三三

じやうぐたいし(上宮太子) 末六六

上宮太子(シヤウグタイシ) 末六六

じやうげん(鄣眼) ↓ぼむな

うしやうげん(シヤウゲン) ↓ぼむな

じやうごむす(莊嚴) 本四一

莊嚴スルニ(シヤウゴムス) 本四一

じやうざふにぎやう(正雜二行) 本四一

正雜二行(シヤウザフニギヤウ) 本四一

じやうざふにぎやうちうたん(正雜二行中且抛諸雜行) 本四一

はうしよざふにぎやう(正雜二行中且抛諸雜行) 本四一

正雜二行中且抛諸雜行(シヤウザフニギヤウチウタン) 朱諸雜 末三三

じやうじ(生死) ↓ごだうし

やうじ・ぶそくよくりしや(シヤウジ) ↓ごだうし

うじ・るてんしやうじ(シヤウジ) ↓ごだうし

生死(シヤウジ) 末三五

清淨(シヤウジヤウ) 本五三

じやうじゆ(聖衆) 末十四

聖衆(シヤウジユ) 末十四

じやうじゆ(成就) ↓ぐわん

じやうちむみやうぢやうやし

だいどうこやかひちげんあむ

(誠知無明長夜之大燈炬也何

悲智眼闇)

誠知無明長夜之大燈炬

也何悲智眼闇 末四一

しやうちやう (正定)

正定 本七一七二

末三三三

しやうぢやうしこふしやそく

ぜしようぶちみやう (正定之

業者即是稱佛名)

正定之業者即是稱佛名

末三一

しやうちやうじゆ (正定聚)

正定聚 本九一五二

元一四六末四四

じやうど (浄土) ↓あんやう

じやうど・あんらくじやう

じやうど

浄土 本十一三三三三六

毛一四一七五末一三

元二五二

じやうどいちしゆしや (浄土

一宗者)

浄土二宗者

じやうとうかく (成等覺)

成等覺 末四六

じやうとうかくしようだいね

ちはん (成等覺證大涅槃)

成等覺證大涅槃 末四三

しやうとくたいし (聖徳太子)

聖徳太子 本八四二

聖徳太子 本八四三

じやうとしゆ (浄土宗)

浄土宗 本五九三

末四六

じやうどもん (浄土門) ↓せ

んにふじやうどもん・よく

にふじやうどもん

浄土門 末三二

三二五

浄土門 末三二

じやうどろん (浄土論)

浄土論 本四四一

五五三三三三三三三三

しやうにん (聖人) ↓ぐん

くしやうにん・たいししや

うにん・ねんがたいししや

うにん・ほんししやうにん

聖人 本五五二二八五

末二四七四三六三六

じやうぶち (成佛) ↓にやく

がじやうぶち

しやく (釋迦)

釋迦 本七一

しやくによらい (釋迦如来)

釋迦如来 本四三

末三三三二

しやくみだ (釋迦弥陀)

釋迦弥陀 本五三

しやく (釋)

釋 本五二

しやくす (釋)

釋 本五五

釋シタマフヲ

釋シタマハス

釋シタマヘルナリ

しやくそん (釋尊)

釋尊 本五五五二

しやくのかさい (釋迦才)

釋迦才 本五六

釋迦才

しやく (奢促) ↓きうしや

そくしや

しやくかい (娑婆界)

娑婆界 本三三

しやくばせかい (娑婆世界)

娑婆世界 本七二末三三

しゆ (宗) ↓じやうとしゆ

じゆ (堅)

堅 本九一

しゆじ (終時) ↓みやうよく

しゆじ

しゆしがたし (修難)

修シカタシ 末三三

しゆじやう (衆生) ↓いちさ

いしゆじやう・じふはうし

やうせふしゆふしや

衆生 本四四五二

六二七五二五三三

四四七五末三一

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

三三三三三三三三三三

しゅじやうしむ (衆生心)

衆生心 本三二6

しゅじむ (衆水)

衆水 末三4

しゆす (修)

修セムト 末三3

修シテ 末三3

修シカタク 末三6

修スヘシト 末三1

じゆす (誦)

誦セル 本六六3

しゆたら (修多羅)

修多羅 本四六3

咒 六 咒 1

修多羅 本四六4

しゆりようごむるんぐゑんじ

んくわしやう (首楞嚴院源信)

和尚)

首楞嚴院源信和尚

末三2

しよい (所以) ↓によらいし

よいこうしゆつおせ

所以 末四4

しよ (昇)

昇シヨウ 本三〇5

昇シヨウ 本三一1

昇シヨウ 本三〇5

擧キョウ 末三〇1

擧キョウ 本三〇1

稱念シヨウネン 本八4 壹6

稱念シヨウネン 本四四5

やう (所謂真言止観之行)

所謂真言止観之行 末三三6

しらす (知)

シラセムト 本七五二4

シルヘキ也 末五5

シル也 本七24

しん(信) ↓しんじちしん 本五5八3

信 末五2六3

しむ(心) 本五2五3

心シム 本三6六1完5六1

じん(盡) 本望6

しんえい(眞影) 末七1

眞影 本七1

しむくわう(心光) 本九1七4

心光 本九1七4

しんげう(信樂) 本五4

信樂 本五4

しんげうす(信樂) 本六3

信樂スヘシ 本六3

信樂スル人 本三5

しんこん(眞言) ↓しよゐるし 本三5

んごんしくわんしぎやう 本三5

眞言 末三6三1三5

しんじち(眞實) 本四3

眞實シシシチ 本四5

四5四6五2五5

しんじちくどく(眞實功德) 本四5

眞實功德 本四5

しんじちくどくさう(眞實功德相) 本四4

眞實功德相 本四4

しんじちしん(眞實信) 本三5

眞實信 本三5

しんじちしんげう(眞實信樂) 本十5

眞實信樂 本十5

しんじちしんじむ(眞實信心) 本八5三1

眞實信心 本八5三1

しんじちしんじむかい(眞實信心海) 末四6六1五6

眞實信心海 末四6六1五6

しんじちしんじむかい(眞實信心海) 末三3

眞實信心海 末三3

しんじちしんじむかい(眞實信心海) 本望6

眞實信心海 本望6

しんじちしんじむかい(眞實信心海) 本望4

眞實信心海 本望4

しんじち(信者) 本四3

信者 本四3

じむじやう(尋常) 本八3

尋常シムシヤウ 本八3

尋常ヨソツネトイフ 本五1七4

尋常シムシヤウ 本五1

しんしゆざいしむ(信珠在心) 末三2

信珠在心 末三2

しんじゆす(信受) 末五2

信受スヘシト 末五2

しんじむ(信心) ↓くわうみ やうしんじむ・しんじちしんじむ 本望1六2

信心 本望1六2

共4共4六2末三3 三6四2四5五2 三3四2蓋1蓋6 共6共2共6共4 末三4共2

しんじむかい(信心海) ↓しんじちしんじむかい 本五6三2四5

信心 本五6三2四5

しんじち(信) 本三6

信シタル 本三6

信シタル 末九1九2

信スト 本三5

信スル(連体法) 本四4

信スル也 末三1

信スレハ 本六5

しむせうめいきやう(心照迷境) 末三6

心照迷境シムセウメキヤウ 末三6

しんぞう(瞋憎) ↓とむあい 本六2

しんぞう 本六2

しんだん(震旦) 本望6蓋4

震旦シムタン 本望6蓋4

晨旦シムタン 本望6蓋4

じむぢう(深重) ↓ごくあく 本五2

じむぢう 本五2

しんちかうおん(神智高遠) 本五2

神智高遠シチカウオン 本五2

しむねむわみだ(心念阿弥陀) 本五5

心念阿弥陀シムネムワミダ 本五5

しんやく(新譯) 本望3

新譯シんヤク 本望3

しんらくこく(新羅國) 本八4

新羅國シんラクコク 本八4

しんらん(親鸞) 末六3

愚禿親鸞シんラン 末六3

す

スト(「ス」の右傍朱「ス」)

末二1

六1六1末三5

本突5

すすめ(勸)

ス、メニ

本突1

す(動詞) ↓おくす・ぎやう

す(助動詞)

スヘシ 本四5 末突3

又(連体法) 本七6 六4

すつ(捨) ↓たちすつ・なげ

すつ

本六6

みやうす・くゑちふす・くゑ

セタマフ 本六4 六6

サレハ 本五6 六2

すて(捨) ↓たちすつ・なげ

す・ごらむす・ぎむぐゑ

セタマヒタリ 本八四6

すいひりちしやうじん(雖非

くす・しゆす・じゆす・し

セタマハムスル 本八七3

利智精進) 末突1

しようす・じようす・し

セタマフナリ 本八七6

すいふのうけん(雖不能見)

んげうす・しんじゆす・

セ・タマヒタル 本六4

雖不能見

しんず・せふごす・せふ

スハ 本九4 十一三1

すぐ(過)

ごふしやす・せふしゆ

スシテ 本四1

すくなし(少)

す・せふす・たいす・ぢ

ス 末三5 突4

すくふ(救)

わうじやうす・ゑしむす

セシムト 本五4

スクハムト 末吾1

セム 本七4 七5

スト 本六5

すぐる(優)

シテ 本八六1 六3

スト 本三6

スクレテ 本突3

シテモ 末三2 三三六1

スト 本三3 六

スクレタリト也 本七4

スト 末四2 四三六1

スト 本三3 六

スクレタル 本三5

スト 末二二 二四三

スト 本七5

すすむ(勸)

スト 末二二 二四三

スト 本七5

すすむ(勸)

スト 末二二 二四三

スト 本七5

すすむ(勸)

スエ 本五 5 壹 6
魏末 本五 3
末 末三 1

せ

せい(齋)

齋 本五 6 矣 5
齋 本五 1

せいかくくわしやう(聖覚和尚)
↓ほふいんせいにかくくわしやう

聖覚和尚 末四 6
聖覚和尚 末五 6 六 5

せいぐわん(誓願)
誓願 本六 2 四 5
誓願 五 6 六 4 末四 4

せいし(勢至)
勢至 本三 6 三 4 四 3

せいしきやくねむぶちあんつ(勢至獲念佛圓通)
勢至獲念佛圓通 本三 6

せいしとう(勢至等) ↓くわんおむせいしとう

せいしほさち(勢至菩薩)
勢至菩薩 本三 6

せいめいわう(聖明王) 六 4 四 5 壹 2
聖明王 本四 5 五 6
聖明王 本五 2

せう(照)

照 末五 4
せうこく(小国) 本六 2

せうしやうほむぶごくゑやく(小國) 本六 2

はうぼふむかいせんたい(小聖凡夫五逆謗法无戒闍提)
小聖凡夫五逆謗法无戒闍提 末五 2

せうじやう(小乘) 本四 6 四 2

せかい(世界) ↓あんらくせかい・じふはうせかい・しやばせかい

ぜこがくるみやう(是故我歸命) 本四 4

ぜこがじやうねむ(是故我常念) 本五 2

せじんぼさち(世親菩薩) 本四 2

せそん(世尊) 本四 2

せそんがいちしむ(世尊我心) 本四 2

せそんがいちしむ(世尊我心) 本四 2

せそん(世尊)

せそんがいちしむ(世尊我心) 本四 2

せち(截) 本二 9 5

ぜち(絶) 本二 7 1

せちがとくぶち(設我得佛) 本四 1

せちぐわんげそうぢ(説願偈) 本四 6

ぜにん(是人) 本六 2

せぶこす(攝護) 本七 4

せぶこふしや(攝護不捨) 本七 2

せふこふしやす(攝護不捨) 本八 5 二 1

せふしやう(攝生) 本六 3

せふしやうぞうじやうえん(攝生増上縁) 本五 3

せふしゆ(攝取) 本四 3 末四 2

せふしゆしむくわうじやうせうご(攝取心光常照護) 末四 1

せふしゆす(攝取) 本五 5 壹 6

せふしゆふしや(攝取不捨) 末四 6

せふしゆふしや(攝取不捨) 本八 6 八 5

せふす(攝) 本六 2

せふとくわうじやう(攝得往生) 本七 3

せふねむぶちにん(攝念佛人) 本七 3

攝念佛人 本三六 4

ぜむ(漸)

末三二 2

せんおうくろみしやうぎやう

(選應歸正行)

末三三 6

せんおうせんしやうぢやう

(選應專正定)

末三三 5

せんかうにん(染香人)

染香人

本三三 1

ぜむけう(漸教) ↓ たうぢし

やうだうしよもんぜむげう

漸教

末三三 3

ぜんこん(善根) ↓ いちさい

ぜんこん・いちさいぜんこ

せんしやうごむじやうど

せんじゆ(專修) ↓ いちかう

せんじゆ

せんじゆせんねむ(專修專念)

專修專念

末三三 3

せんじゆせんねむしぎやうじ

しぜむぐむけんむよしごむ

(專修專念之行自此漸弘無間)

無餘之勤

專修專念之行自此漸弘無

間無餘之勤 末三二 2

せんだい(闡提) ↓ せうしや

うぼむぶごぐみやくほうほ

ふむかいせんだい

ぜんだう(善導)

善導 本三二 2 6

善導 本三二 3

ぜんだうくわしやう(善導和

尚)

善導和尚 末三三 4 6

ぜんちしき(善知識)

善知識 本三三 1

せんぢやくほんぐわん(選擇

本願) 本三三 6 末三三 5

せんぢやくほんぐわんねむぶ

ちしふ(選擇本願念佛集)

選擇本願念佛集 末三三 4

ぜむどん(漸頓)

漸頓 末三三 2

せんにふ(選入)

選入 末三三 6

せんにふじやうどもん(選入

選入)

浄土門

選入浄土門 末三三 5

せんねむ(專念) ↓ せんじゆ

せんねむ

ぜんほふ(善法)

善法 末三三 6

そ

ぞ(助詞) ↓ なむぞ

ソ 本三三 2

そう(捻)

捻 本三三 2

そう(僧)

僧 末三三 6

ぞうじやうえん(増上縁) ↓

せふしやうぞうじやうえん

増上縁 本三三 5

そうぢ(捻持)

捻持 本三三 4

そうふるんせうせふよぶご

ふぎやうじや(捻不論照攝餘

雜業行者)

捻不論照攝餘雜業行者

そく(促)

そく(促) 本三三 1

促

そく(速) 末三三 4

速 本三三 4

そく(即)

即 末三三 3 5

ぞく(俗)

俗 末三三 5 9 1

そくさん(粟散)

粟散 本三三 2

そくさんわう(粟散王)

粟散王 本三三 1

粟散王

そくざむぐゑ(即懺悔)

即懺悔 本三三 3

そくじにふひちぢやう(即時

入必定)

即時入必定 本三三 4 末三三 6

そくじゆざぎちやうらいふち

そくにひやくぶちこん(即從

座起頂礼佛足而白佛言)

即從座起頂礼佛足而白佛

言

そくぜくるみやう(即是歸命)

即是歸命 本三三 6

そくぜごぎやう (即是其行)

そんがうしんざうめいもん

だいし (大師) ↓ねんがだい

大涅槃 (大涅槃道) 末巻6

即是其行 本六4突4

(尊號眞像銘文) 尊號・眞像銘文 本三1

だいししやうにん (大師聖人)

大涅槃道 本三1

そくたんぶち (即嘆佛)

そんがうのしんざうのめいもん (尊號眞像銘文)

だいじだいひ (大慈大悲)

だいねちはんだう (大涅槃道)

願廻向

尊號眞像銘文 末三1

大慈大悲 末五1

だいねちはん (大般涅槃)

即發願廻向

本三6

大慈大悲 末六1

大般涅槃 末四5

そくわうてう (即横超)

た

だいじよう (大乘)

だいひむくゑん (大悲无憍)

即横超

だいかい (大海) ↓しやうじ

大乘 本四6突1

大悲无憍 末四6

そくわうてうせちごあくしゆ

だいかい 本三3末五2

だいじようしゆたら (大乘修多羅)

だいほうかい (大寶海)

(即横超截五惡趣)

大經 末四6

たいしわさらい (太子阿佐礼)

だいむりやうじゆきやうごん (大无量壽經言)

即横超截五惡趣

大慶 末四4

太子阿佐礼 本六五1

大无量壽經言 本三6

そし (祖師)

たいぐわんごふりき (大願業力)

たいす (対)

だう (道)

祖師

大願業力 本三5

對スル 本二九1一九1

だうぞく (道俗)

その (其)

たいせいしほふうじよごど

うりん (大勢至法王子与其同倫)

だうぞく (道俗)

ソノ

大勢至法王子与其同倫 本六5

うりん (大勢至法王子与其同倫)

だうぞく (道俗)

そふ (添)

たいし (太子) ↓しやうとく

たいねちはん (大涅槃)

だうぞく (道俗)

ソエテ

たいし・じやうぐたいし

やうとうかくしやうだいな

たうち (當知)

そむ (染)

わさたいし

ちはん・むじやうだいな

たうちしやうじしけ (當知生死之家)

染香人

本三5

大勢至法王子与其同倫 本六5

たうち (當知)

それ (其)

本三5

たいねちはん (大涅槃)

たうち (當知)

ソレ

本三5

たいねちはん (大涅槃)

たうち (當知)

そんがう (尊號)

本三5

たいねちはん (大涅槃)

たうち (當知)

尊號

本三5

たいねちはん (大涅槃)

たうち (當知)

本三5末九3

本三5

たいねちはん (大涅槃)

たうち (當知)

本三5末九3

本三5

たいねちはん (大涅槃)

たうち (當知)

むげうや (當知聖道諸門漸教也)

當知聖道諸門漸教也

本三二

たうらい (當來)

當來 本三三

たがふ (違)

タカハスシテ 本三四

タカハスト 本三三

タカフト 本三三

たすく (助)

タスケ 末三三

ただ (唯)

タ、 本八四二二

たたさま (豎)

タ、サマ 本二九二

タチステス 本二九一

たちすつ (絶捨)

タチステス 末三三

タチステ 本二七一八四

タチ・ステ、 本二七三

たちまちに (忽)

タチマチニ 末三〇五

たつ (立)

タチ 本二九四

たてまつる (奉) (補助動詞)

ミタテマツリ 本三三

礼シ・タテマツリ・タマヒ

ケル也 本二九二

礼シ・タテマツリテ本八六

ミタテマツルヘシトナリ

恒向北禮 本三三

ホメタテマツル・ミコト、 本二七五

ミタテマツルコト 末四三

念シタテマツルト 本二九四

命シ・タテマツルトナリ 本四一

タトヘ・タテマツルナリ 本三三

ミタテマツル也 末三二

ホメタテマツルニ 本三二

たとふ (喩)

タトヘタルナリ 本二五

タトエタルナリ 末三三

タトヘタルナリ 本二五

タトヘタルナリ 末三三

タトヘタルナリ 本二五

タトヘタルナリ 末三三

タトヘタルナリ 本二五

タトヘタルナリ 末三三

タトヘタルナリ 本二五

タトエタル也 本八二

タトヘタルマフ 末三三

タトエテ 本八九

タトエマフス也 本三四

タトヘタル也 末三三

たね (種)

タネ 末二六四三三

たのむ (頼)

タノミタマフ 末三三

タノムヘシト也 本八五

たま (珠)

タマ 末三三二三四三六

たまはく (給) (補助動詞)

チカヒタマハク 本七三

たまはる (賜)

タマハリヌルニハ 本八二

たまふ (給) (補助動詞)

ステタマハサレハ 本二五

マモリタマハスト也 本八四

マモリタマハスト 本八五

釋シタマハス 本八二

ワタラセタマハムスルト 本八三

イテサセ・タマヒシト 本三三

イテサセ・タマヒシ 本三三

キコエタマヒキト也 本三三

礼シ・タテマツリ・タマヒ

ケル也 本二九二

ホメタマフテ 本三三

ムマレサセタマヒタリケル 本三三

ワタラセ・タマヒタリケル 本三三

ナラセ・タマヒタルト 本三三

ホメタマヒタル也 末三三

エタマフト 本三三

オシエ・タマフトナリ 本三三

サトリ・タマフト也 本三三

オサメ・トラセ・タマフト 本三三

トキタマフ 本三三

ノセタマフト 本三三

マモリタマフト 本三三

チラシ・タマフト也 本三三

オサメ・トリタマフト也

本五6

オサメタマフト

本六1

マモリ・タマフト

本六3

末五6

マモリタマフト

本六二4

末六2

ワタラセ・タマフト本八五6

テラシ・タマフト 末五4

五5

タトヘタマフト 末三4

テラシタマフト 末四6

ヒロメタマフト 末七4

イテタマフト 末四5

ス、メタマフト 本七3

イテサセタマフト 本三6

三4

アラワレ・タマフナリ

釋シタマフヲ 本四4

ナシタマフ也 本五4

撰護不捨シ・タマフユヘ也 本五6

ワタラセタマフナリ本八七6

アラワシタマフ也 末六4

本八〇5

本八〇5

テラシ・マモリタマフユヘ 末四2

ニ 撰取シタマフユヘナリ 末五1

アオキ・タノミ・タマフ・ 末五1

御コトハナリ 末七1

イテタマフ・本懐ハ 末四4

イテタマフユヘハ 末五3

テラシ・マモリタマフ・ユ 末四4

ヘニ トキタマヘル經 本四1

ス、メタマヘル・御チカヒ 本六3

チカヒ・タマヘルナリ 本八1

チカヒタマヘル・ミノリ也 本九5

チカヒタマヘル御ノリ也 本十二

トキタマヘル・御ノリナリ 本五3

アラハシ・タマヘル御コト 本五5

ミチタマヘルナリ 本四2

ミチタマヘルナリト本四3

ネカヒ・タマヘルナリ 本七6

ナノリ・タマヘル・御コト 本四六3

ハ也 ツクリタマヘルニ 本五5

オサメ・タマヘル・ユヘニ 本三6

ホメタマヘルナリ 本四3

トキ・タマヘル・釋迦 本六6

チカヒ・タマヘルミノリ也 本七1

オクラレタマヘル金銅 本七4

釋シタマヘルナリト 末六5

ため(為) タメ 本四3

たり(助動詞) タラ 本四2七3

タリ(連用形) 本八四4六八五4

タリ(終止形) 本九2

十四七6七4

タリト 本六6

獲タル 本六2

本十一三三三七6

七二七四七四6

六二八〇二八五

八一〇五

末二三三三三4

一四二四六二四6

三三4五五三6

四二

たりき(他力) 本六6

他方 一八五四五末三1

禿1禿6

たりきしんしゆ(他力眞宗)

他方眞宗 本九4

たんうせんねむわみだぶちし

ゆじやう(但有專念阿弥陀佛

衆生)

但有專念阿弥陀佛衆生

たんかく(且闍)

且闍 末九3

たんかくしやうだうもん(且

闍聖道門)

本六2

且闍聖道門

末九三

往生論

註解往生論

本六二

ち

ちゆす(住)

住スル

本五八

ち(致)

本一四二

ちゆるん(註論)

註論

本六四

ち(智)

本三二三二

ちよくあくじやけん(濁悪邪見)

濁悪邪見

本五三

ちかひ(誓)

本七二二三五三

ちよくし(勅使)

勅使

本六一

チカヒ・タマヘルナリ

ちよくめい(勅命)

勅命

本三三

チカヒタマヘル本九五十二

ちらす(散)

チラセルカコトク

本九三

チカヒ・タマヘルミノリ

ちるやう(智樂)

智樂

本六二

ちしや(智者)

本九四

ちるやうぜんじ(智樂禪師)

智樂禪師

本六四

ちひさし(小)

本六三

ちる(智慧)

智慧

本八一

チヒサキ

本六三

ちる(智慧)

智慧

本八一

ちもん(知聞)

本六三

ちる(智慧)

智慧

本八一

知聞

本六三

ちる(智慧)

智慧

本八一

ちやうや(長夜)

本六三

ちる(智慧)

智慧

本八一

ちやうや

本六三

ちる(智慧)

智慧

本八一

ちやうや

本六三

ちる(智慧)

智慧

本八一

ちゆげわうじやうろん(註解)

本六三

ちる(智慧)

智慧

本八一

ちゆげわうじやうろん

本六三

ちる(智慧)

智慧

本八一

二一 二六 三〇 一

三三 三三 三三 六

三三 三三 二七 三

三六 一 二 三 四 一

三二 三三 三三 五

三五 五 三 三 三

三六 五 二 三 三

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

本 二 六 一 九 一

てんじん (天親) 本 二 六 一 九 一

てんじんぼさち (天親菩薩) 本 二 六 一 九 一

てんじんろんじゆ (天親論主) 本 二 六 一 九 一

てんぢく (天竺) 本 二 六 一 九 一

五 一 五 四 五 六 六 三

六 五 七 一 七 一 七 二

七 六 八 五 九 二 九 三

九 四 九 五 十 二 十 四

二 一 二 一 二 二 二 四

二 六 二 六 三 二 三 三

二 三 三 四 三 四 三 五

二 六 三 一 三 一 三 二

三 三 三 四 三 四 三 五

三 六 四 一 四 二 四 二

四 三 二 四 三 二 四 三 四 五

四 六 二 四 六 二 四 五 一

五 三 三 五 三 六 三 六 四

六 四 六 五 一 六 五 一 六 六

六 六 七 一 七 一 七 二

七 二 七 四 七 五 七 五

七 六 六 二 六 二 六 二

八 五 八 六 八 六 八 九 二

九 三 九 三 九 五 九 五

一〇 一 〇 二 〇 三 〇 五

一〇 六 〇 六 二 一 二 二

二 二 二 三 二 四 二 六

三 一 三 一 三 三 三 六

二四 六 五 一 五 二 七 六

六 一 六 二 六 二 六 二

六 三 六 四 六 五 六 六

六 六 六 一 六 一 六 一

六 九 二 六 九 四 九 五

六 〇 五 〇 一 〇 二 〇 三

三 〇 五 三 一 一 三 一 三 三

三 五 三 三 六 三 一 三 二

三 二 三 三 四 三 五 三 二

三 四 三 三 六 三 四 一 四 五

三 五 五 五 五 五 六 六 一

三 六 一 六 二 六 二 六 三

三 六 四 六 四 六 五 六 六

三 七 一 七 一 七 一 七 二

三 八 四 八 六 八 六 八 六

三 九 二 九 四 九 四 九 五

三 九 六 四 一 四 二 四 二

四 〇 三 四 五 四 一 四 二

四 〇 五 四 一 四 二 四 三

四 〇 五 四 一 四 二 四 三

四 〇 五 四 一 四 二 四 三

四 〇 五 四 一 四 二 四 三

四 〇 五 四 一 四 二 四 三

にやくがじやうぶち (若我成佛)

若我成佛 本三二

にやくしゆじやうしむおくぶちねむぶち (若衆生心憶佛念)

若衆生心憶佛念 本三三

にやくにんぐわんさぶち (若人願作佛)

若人願作佛 本三三

にやくふしやうじや (若不生者)

若不生者 本九三

にやくふしやうじやふしゆしやうがく (若不生者不取正覺)

若不生者不取正覺 本九二

によしゆしるにふかいいちみ (如衆水入海一味)

如衆水入海一味 末三六

によせんかうにんしんうかうげ (如染香人身有香氣)

如染香人身有香氣 本三三

によむりやうじゆきやうしじ (如來所以興出世)

如來所以興出世 末三六

ふはちぐわんちうせち (如无量壽經四十八願中說)

如无量壽經四十八願中說 本九六

によらい (如來) ↓しやかに

によらい 本三六

八二八四三五四三

一三三三三三三三

末二二二二二二二二

によらいしよいこうしゆつおせ (如來所以興出於世)

如來所以興出於世 末四二

によらいしよいこうしゆつおせよくじようぐんまうゑいし

んじちしり (如來所以興出於世欲拯群萌惠以眞實之利)

如來所以興出於世欲拯群萌惠以眞實之利 末四六

によらいしよいこうしゆつおせ (如來所以興出世)

如來所以興出世 末三六

にんのうねむぜぶちむりやうりきくどく (人能念是佛无量力功德)

人能念是佛无量力功德 本三二

ぬ (助動詞)

シリヌ 末一五

シリヌト 末四三

ナリヌト 末四三

タマハリヌルニハ 本八二

イリヌレハ 本九一

ハラシヌレハ 末三三

歸入シヌレハ 末四四

ねがひしたふ (願慕)

ネカヒシタフ 末二六

ねがふ (願)

ネカヒタマヘル 本三六

ネカフコ、ロ 本三二

ネカフ人 本三三

ネカヘト也 本三二

ねちはん (涅槃) ↓しようだ

いねちはん・とくねちはん・むじやうだいねちはん・むじやうねちはん

ねちはんしじやう (涅槃之城)

涅槃之城 末四三

ねんがだいししやうにん (然大師聖人)

然大師聖人 末三三

ねんしがしゆしや (然至我宗者)

然至我宗者 末四三

ねむず (念)

念シタテマツル 本九四

念スヘシトナリ 本九四

念スト也 末九六

念ストマフスハ 末九六

念スルナリ 本三三

念スレハ 本三三

ねんそく (然則)

然則 末三二

ねんそくはかいざいこんしはいかけん にふわうじやうしだう (然則破戒罪根之輩加肩入往生之道)

然則破戒罪根之輩加肩入往
生之道
末六六

ねむぶち (念佛)

念佛 本六一六四 二四六
一六一六四 末八一

此則名曰香光莊嚴
シソクミヤウチカククワシヤウゴム
ネムブチハチエナリ

本四四

ねむぶちぎむまい (念佛三昧)

念佛三昧 本三三
ねむぶちしゆじやうせふしゆ

ねむぶちしゆじやうせふしゆ

ふしや(念佛衆生)攝取不捨
念佛衆生 攝取不捨 末六四

ねむみだぶち (念弥陀佛)

念弥陀佛 末九三

の

の (助詞)

本三六四四四四四
四六五二五二五三

五三五四六二六四

六四六六六六七二

七二七四七六八一

八三八三八八八六

九一十三二二二三

二四二四二五二三

三三三五三三三六

四四四四三四四四

五五二六三八三九三

六一九六二二三二五

二二二二二二二二二

三三三三三三三三三

四四四四四四四四四

五五五五五五五五五

六六六六六六六六六

七七八七八七八七八

八八八八八八八八八

九九九九九九九九九

一〇一〇一〇一〇一〇一〇

一一一一一一一一一一一

一二一二一二一二一二二

一三一一三一一三一一三

一四一一四一一四一一四

一五一一五一一五一一五

一六一六一六一六一六一

一七一一七一一七一一七

一八一一八一一八一一八

一九一九一九一九一九九

二〇二〇二〇二〇二〇二〇

五三三三三三三三三

五四五四五四五四五四

五五五五五五五五五

五六五六五六五六五六

五七五七五七五七五七

五八五八五八五八五八

五九五九五九五九五九五

六〇六〇六〇六〇六〇六〇

六一六一六一六一六一六一

六二六二六二六二六二六二

六三六三六三六三六三六三

六四六四六四六四六四六四

六五六五六五六五六五六

六六六六六六六六六六六六

六七六七六七六七六七六七

六八六八六八六八六八六八

六九六九六九六九六九六九

七〇七〇七〇七〇七〇七〇

七一七一七一七一七一七一

七二七二七二七二七二七二

七三七三七三七三七三七三七

七四七四七四七四七四七四

七五七五七五七五七五七五

七六七六七六七六七六七六七

七七七七七七七七七七七七

七八七八七八七八七八七八

八一八一八一八一八一八一

八二八二八二八二八二八二

八三三三三三三三三三三三

八四八四八四八四八四八四

八五八五八五八五八五八五

八六八六八六八六八六八六

八七八七八七八七八七八七八

八九八九八九八九八九八九

九〇九〇九〇九〇九〇九〇

九一一一一一一一一一一一一

九二九二九二九二九二九二

九三九三九三九三九三九三

九四九四九四九四九四九四

九五九五九五九五九五九五

九六九六九六九六九六九六

九七九七九七九七九七九七

九八九八九八九八九八九八

九九九九九九九九九九九九

一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇

一一一一一一一一一一一一一一

一二一二一二一二一二一二二

一三一一三一一三一一三一一三

一四一一四一一四一一四一一四

一五一一五一一五一一五一一五

一六一六一六一六一六一六一

一七一一七一一七一一七一一七

はちじふろくさい(八十六歳) 末八6

はなる(離) 悲願 末四2

ハナレムト 悲願 末四2

ハナレテ ヒコロ 本四4 五5

ハナルト ひさし(久) 本四4 五5

ハナル、ヲ ヒサシク 末四2

はらす(晴) 必^ヒ 本一六3 七4

ハラシ・ヌレハ 必^ヒ 本一六3 七4

はらふ(払) 必至滅度 末四2

ハラヒ 必至滅度 末四2

はる(晴) ひちぢやう(必定) ↓そくじ 末四2

ハレ(中止法) にふひちぢやう 本一六5 六6

ハレテ 必定 本一六5 六6

ひ ひちとくてうぜちこわうじやうあんやうこく(必得超絶去往生安養國) 末四2

ひ(日) 往生安養國 必得超絶去往生安養國 本一六3

日 必得超絶去往生安養國 本一六3

ひ(彼) ひつじ(羊) 本一六3

彼 ヒツシ 末四2

ひく(引) ひと(人) 本一三3 四4 三1 三3

ヒカレテ 人 本一三3 四4 三1 三3

ヒカルル(連体法) 三4 三5 四2 四4

ヒクナリ 本一四6

びくに(比丘尼) 本一六5 五1 五4

三6 三7 四2 四6

四4 八2 八3 八4

末十二 二四2 二四5 二四6

元6 三3 四2 五3

元3

本十一 二6 三3 三1

本三 二3 三5 四3 三5

元4 五2 五4 五5

元1 末五 三5

元5 元3

ひとし(等) 末四2 四3

ヒトシト 末四2 四3

ひとすぢに(一筋) 本一六6 六3

ヒトスチニ 本一六6 六3

ひとつ(一) ↓いち 末三5

ヒトツ 末三5

ひとへに(偏) ヒトヘニ 末四4

ヒトヘニ 末四4

ひによにちぐわちふくうんむ うんむしげみやうむあむ(譬如日月覆雲霧之下明无闇) 末四1

如日月覆雲霧之下明无闇 末四1

譬如日月覆雲霧之下明无闇 末四1

明无闇 末四1

ひはう(誹謗) ↓ゆいぢよ

ぐみやくひはうしやうぼふ 誹謗 本二3

ひぶちけうがねむぶぢざんま い(彼佛教我念佛三昧) 本三2

彼佛教我念佛三昧 本三2

ひぶちしむくわうじやうせう ぜにん(彼佛心光常照是人) 本三2

彼佛心光常照是人 本三2

ひやくだいこふ(百大劫) ↓ さむぎひやくだいこふ

ひらく(開) ヒラクト 末三4 五5

ヒラクタネ 末三4

ヒラクナリ 末三1

ヒラク也 末四4

ヒラクケ 末五6

ひろし(廣) ヒロク 本五3 五2

ヒロク 本五3 五2

ひろまる(廣) ヒロマルト 末六5

ヒロマルト 末六5

ひろむ(廣) ↓ときひろむ ヒロメオハシマスト 本七1

ヒロメオハシマスト 本七1

ヒロメタマフト 末七4

ふ

不思議フシギキ

末三 6

ふ(経)

へス

末六 4

へテ

末三 3

ふかし(深)

フカク

本五 5 8 5

フカキ(連体法)

末九 6 丑 2

ふかしぎくわうぶち(不可思議光佛)

不可思議光佛

ふくわん(普勧)

普勧

本六 6

ふくわんだうぞくねむみだぶち(普勧道俗念弥陀佛)

普勧道俗念弥陀佛

末八 3

ふくゐやくゐ(不逆違)

不逆違

末三 3

ぶこんうりどんしや(夫根有利鈍者)

夫根有利鈍者

末元 3

ふしぎ(不思議)

不思議

末元 3

ふしや(不捨) ↓せふごふし

や・せふしゆふしや・ねむ

ぶちしゆじやうせふしゆふ

しや

ふしゆしやうがく(不取正覚)

不取正覚

本九 4

ぶそくよくりしやうじ(夫速欲離生死)

夫速欲離生死

末六 5

ふたい(不退)

不退

本二四 1 二四 4 二四 6

ふたごころなし(二心無)

二心無

本五 5

ふたつ(二) ↓に

二

本二 4

ふたり(二人)

二人

末三 4 三 4

ふたんぼむなう(不断煩惱)

不断煩惱

八五 八 五 九 1

(不断煩惱得涅槃)

不斷煩惱得涅槃

末三 3

ぶち(佛) ↓ほとけ

佛

本四 2

ぶちくわうゑんちやう(佛光)

佛光

九五 十 二 四 六 末一 六 三

圓頂

佛光 圓頂

末二四 3 二四 4

ぶちけう(佛教)

佛教

本六 六 二 六 五 末三 1

ぶちしむ(佛心)

佛心

本六 五 末二四 4 三 6

ぶちしむくわう(佛心光)

佛心光

本六 六 六 6

ぶちだう(佛道)

佛道

末三 2

ぶちほふ(佛法)

佛法

本六 六 6

ぶちほふしや(佛法者)

ふね(舟)

フネ

末四 3

ふんこちかほうしぎいしんか

しやし(粉骨可報之推身可謝

之)

粉骨可報之推身可謝之

末四 5

へ(助詞)

へ

末三 6

へい(閉)

閉

末三 3

へいしう(并州)

并州

本二 2

べし(助詞)

助詞

本八 4

マツヘカラス

本八 4

信樂スヘシト

本六 3

タノムヘシ

往生スヘシト

往生スヘシト

本二 6

ムネトスヘシト

ムネトスヘシト

本四 5

ウヘシト也

ウヘシト也

本七 6 三 6

タテマツルヘシ 本三三4
念スヘシトナリ 本三六4

末六
シルヘシトナリ 本四七3 六六七1

末六 六三三4 七四六5
シルヘシト也 本四二2 三三3

末三 四三三3 四三三6
末二 元四四6 七1

ノルヘシト 本七三2
アルヘシト也 本七三3

シルヘシ 本八二2 八二1
末二 五一一六 二四七5 三〇6

ヒロメマシマスヘシト 本八八3
シタフヘシト也 末二6

サシオクヘシト也 末二九5
三〇三2 三〇五

コ、ロウヘシト也 末三六4
オモヒシルヘシト也 末四三5

報スヘシトナリ 末四三2
ムクウヘシト也 末四三4

因トスヘシト也 末四三3

信受スヘシト也 末五三3
コ、ロフヘシトナリ 末六〇6

イルヘシト也 末六一1
歸スヘシト也 末六一1

修スヘシト也 末三三1
シルヘシト 末三三2

マトウヘシト 末四四4
オモムクヘシトナリ 末四四1

ナルヘキ・ミト 末一五1
ウヘキコト 末七五4

シルヘキ也 末九五5
へだつ(隔) 本七九3

へだてなし(隔無) 末六4
へタテナク 本五三3

へタテナキ 本五二2
べちとく(別徳) 本六一3

別徳 本六一3
へんじゆ(偏數) 本七3

偏數 本七3
ほ 本七4

ほうず(報) 末四三2
報スヘシト 末四三2

ほうど(報土) ↓じちほうど 本三三4

ばさち(菩薩) ↓くぜばさち・くゑぶちばさち・せいしほさち・せしんばさち・てんじんばさち・のうねむかいけんくゑぶちばさち・ほふさうばさち・りうじゆばさち 本元1 末1

ち 本元1 末1
ぼだい(菩提) ↓あのかぼだい 末三三2

い・むじやうぼだい 末三三2
ぼたう(慕道) 末二5

慕道 末二5
ぼたうくゑもち(慕道化物) 末二5

慕道化物 末二5
ぼちしみるゑん(汶水縣) 本五五1

汶水縣 本五五2
ぼちす(發) 末五二4

發 末五二4
ほど(程) 本七4

ほどけ(佛) ↓ぶち 本七4

佛 本元4 元5 三〇2 三〇4 三一一 三三6 三三6

三三3 三三4 三五六3 元四 四四5 三二七3 七一七一

末四 五十六 三三1 三三3 四四5 三三3

ほとり(辺) 本五三3

ほとり 本五三3
ほね(骨) 末四三2

ほね 末四三2
ほふいんせいかくくわしやう(法印聖覚和尚) 末五五5

法印聖覚和尚 末五五5
ほふくゑ(法華) 末三三5

法華 末三三5
ほふさうしゆ(法相宗) ↓さむろんほふさうしゆとち 本元1

ほふさうしゆ(法相宗) ↓さむろんほふさうしゆとち 本元1
ほふざうぼさち(法藏菩薩) 本六五七2

法藏菩薩 本六五七2
ほふわうじ(法王子) 本元1

法王子 本元1
ほむ(誉) 本六三3

ほむ 本六三3
ホメタマフテ 本六三3

ホメタマツル本 七五三二 二

マツヘカラス 本八四
マイラセテ 本八五

マツモノハ 本八四
マイラセタリケル 本八五

まで(助詞) 本八七
マイラセシトキ 本八六

マテ 本八七
マイラセケリ 本八九

まどふ(惑) 本三七
マイラストシテ 本八六

マトハサル 末三三
まんぞくす(満足) 本八三

マトフヘシ 末三三
満足セシムル 本八三

まなこ(眼) 末四四
み 本五五

マナコ 末四四
み(身)↓わがみ 本五五

まもる(守) 本七一
ミ 本五一

マモリタマフト 本七一
末五三

マモリテ 本六六
染香人シシカウニ 本五五

マモリタマハスト 本六一
カハシキニソメルカゴトシトヲ 本五五

マモリタマフユヘニ 末四二
身 末四三

まよふ(迷) 末四二
みあし(御足) 本九四

マヨフト 末四二
御アシ 本九四

まれなり(稀) 末四二
みごじやうなんがく(彌猴情) 本三二

マレナリトナリ 本三三
難學コヤウシカク 末三二

まぬらす(參) 末三三
彌猴情コヤウシカク 末三二

マイラセタルユヘニ 本四四
みこと(御言) 本七六

ミコト 本七六
九四七六二四

末五二 四四六 五二

御コト 本三三
末八二

みことのり(詔) 本三三
御コトノリ 本四四

みことば(御言葉) 本四四
ミコトハ 本五三

御コトハ 本四二
御コトハ 本三三

みそなはず(見行) 本五一
ミソナワス 本五一

みだ(彌陀) 本三三
一七五 四四 五三

彌陀 本三三
末五三 四三 二四二

みだのぐわんかいいちじよう(彌陀願海一乘) 末三三
彌陀 末三三

彌陀願海一乘 末三三
彌陀如來廻向 末四一

彌陀如來廻向 末四一
みだぶち(彌陀佛) 末四一

彌陀佛 本七四
みだる(乱) 本八六

ミタラレス 本八六
みちけう(密教) 末三三

密教 末三三
みちみつ(満満) 本五五

みちみつ 本五五
ミチミテルカ 本五五

みつ(満) 本五五
ミチタマヘル 本五五

みつ(三) 本五五
みづ(水) 本五五

みでし(御弟子) 本五五
御弟子 本五五

みな(皆) 本二五
ミナ 本二五

みな(御名) 本二五
ミナ 本二五

御名 本三三
御名 本三三

みのり(御法) 本三三
御名 本三三

ミノリ 本九五三二 弥勒ミロク 本四二

御ノリ 末四二四五

御ノリミツ 本七〇一

みやうがう(名号) 本十二二五四

名号ミヤウカウ 本三六末九五

名號ミヤウカウ 本七二

みやうじ(名字) ↓ししようが

みやうじミヤウジ ↓ししようが

名字ミヤウジ 本七三

みやうちしようみやう(明知)

稱名ミヤウチ 本七三

明知稱名チシヨウミヤウ 末十四

みやうよくしゆじ(命欲終時)

命欲終時ミヤウヨクシユン 本七三

みやこ(都) 末四五

ミヤコ 末四五

みゆ(見) 本九二四七六

ミエタリ 本九二四七六

みる(見) 末十二

ミト 末十二

ミタテマツリ 本三三

ミタテマツル 本三三

みるく(弥勒) 末四五十

みるくミロク 末四五十

むくゆ(報) 末四三

ムクウヘシ 末四三

むくゑん(无倦) ↓だいひむ

くゑん

むげ(无碍) 本四三末五四

无碍ムゲ 本四三末五四

むげくわう(无碍光) 本四三末五四

无碍光佛 本四三末五四

むざい(无才) ↓むちむざい

むざいムザイ ↓むちむざい

むし(无始) 本三三

无始ムシ 本三三

むしやうにん(无生忍) 本三三

无生忍ムシヤウニン 本三三

むじやうだいねちはん(无上大涅槃) 本二四

大涅槃ムジヤウダイネチハン 本二四

むじやうだう(无上道) 末二六

无上道ムジヤウダウ 末二六

むじやうねちはん(无上涅槃) 本二六

无上涅槃ムジヤウネチハン 本二六

むじやうぼだい(无上菩提) 末三三

むじやうぼだいムジヤウボダイ 末三三

无上菩提ムシヤウボダイ 末三三

むず(助動詞) 本八七三

ムスルト 本八七三

むちむざい(无智无才) 末三六

无智无才ムチムザイ 末三六

むなし(空) 本三二

ムナシク 本三二

むにん(無人) 本三二

無人ムニン 本三二

むねと(宗) 本四三二四五三

ムネトス 本四三二四五三

むまる(生) 本七一

ムマレムト 本七一

ムマレスハ 本九四

ムマレサセ 本四四

ムマレテ 本五五末一三

ムマルト 本七五

ムマル、也 本三六末三六

ムマル、(連体法) 本三五

むみやう(无明) 三三三三三三

むみやうムミヤウ 三三三三三三

無明 ムミヤウ 末四 4

むみやうぢやうや(无明長夜)

无明長夜 末四 4

むりやう(无量)

无量 本六 3

め

めいきやう(迷境) ↓しむせ

うめいきやう

めうけうるつこうほうにちほ

んこく(妙教流通東方日本国)

妙教流通東方日本国本六 5

めぐみ(恵) ↓おむめぐみ

めぐる(迂)

迂 ウ(来)

迂 ウ(来)

メクル

めし(召)

メシ 本五 5 六 1

めちど(滅度) ↓ひちしめち

滅度 メト

滅度 メト

めでたし(愛)

メテタキ(連体法) 末三 3

も

も(助詞)

モ 本三 3 三 3 三 5 共 3

末二 2 末 2 末 3 三 2

三 3

モ(朱右傍補記)

本七 5 七 5

もし(若)

モシ 本四 2 九 3 十 1

三 5 元 4 七 3 三 6

もち(物)

モチ 末三 1

もつ(持)

モタル 末六 4

モテ 本六 4

三 1 末 四 1

モテル

もて(以) 本四 3 三 1

モテ 本六 3

末三 1 四 1 五 6

もと(本)

もと(元) 本三 1

もと(元) 本三 1

モト 本五 6

もとより(固)

モトヨリ 本五 2

もの

モノ 本七 4 七 5 七 5

四 4 共 3 共 4 共 4

末二 2 三 3 三 4 共 3

元 3 元 6

ものうし(物憂)

モノウキ 末五 2 六 1

もらす(漏)

モラス 本七 6

もる(漏)

モレス 本二 6 三 3

もろもろ(諸語)

モロ、モロ、 末三 5

もん(文)

モン 本六 3 末 四 6

もん(聞)

モン 本三 4

もんみやう(聞名)

モンミヤウ 本七 5

もんみやうよくわうじやう

モンミヤウヨクワウジヤウ

(聞名欲往生)

聞名欲往生 本三 4

や

や(助詞)

ヤト 末四 6

やう(様)

ヤウ 本十 3

やうやく(漸)

ヤウヤク 末三 2

やくぜぼちぐわんゑかうしぎ

(亦是發願廻向之義)

亦是發願廻向之義 本五 6

やすし(易) ↓ゆきやすし

ヤスク 末五 2

やぶる(破)

ヤフラレス 本六 4

やみ(闇)

ヤミ 末三 5 三 1

三 4 共 3

ゆ

ゆいしん(唯信)

唯信 本十 4

ゆいしんせう(唯信抄)

唯信抄 本十 3

ゆいしんせう(唯信抄)

唯信抄 本十 3

ゆいせちみだほんぐわんかい

(唯説弥陀本願海)

唯説弥陀本願海 末四二

ゆいぢよ(唯除)

唯除 本二一

ゆいぢよごぐるやくひほうし

やうぼふ(唯除五逆誹謗正法)

唯除五逆 誹謗正法 本十六

ゆきさる(行去)

ユキサル 本一七四

ゆきやすし(行易)

ユキヤスシト也 本二二

ユキヤスク 本二四二

ユキヤスキ也 本二六

ゆく(行)

ユクトイフ 本一七二

ゆざい(猶在)

猶在 本五二

ゆ系(故)

ユヘナリ 本五三

ユヘ也 本〇五八二

ユヘニ 本一六三

三三六 三四二 三四四

六六 六七 六八 六九

七〇 七一 七二 七三

七四 七五 七六 七七

七八 七九 八〇 八一

八二 八三 八四 八五

八六 八七 八八 八九

九〇 九一 九二 九三

九四 九五 九六 九七

九八 九九 一〇〇 一〇一

一〇二 一〇三 一〇四 一〇五

一〇六 一〇七 一〇八 一〇九

一〇一〇 一〇一一 一〇一二 一〇一三

一〇一四 一〇一五 一〇一六 一〇一七

一〇一八 一〇一九 一〇二〇 一〇二一

一〇二二 一〇二三 一〇二四 一〇二五

一〇二六 一〇二七 一〇二八 一〇二九

一〇三〇 一〇三一 一〇三二 一〇三三

一〇三四 一〇三五 一〇三六 一〇三七

一〇三八 一〇三九 一〇四〇 一〇四一

一〇四二 一〇四三 一〇四四 一〇四五

一〇四六 一〇四七 一〇四八 一〇四九

一〇五〇 一〇五一 一〇五二 一〇五三

一〇五四 一〇五五 一〇五六 一〇五七

一〇五八 一〇五九 一〇六〇 一〇六一

一〇六二 一〇六三 一〇六四 一〇六五

一〇六六 一〇六七 一〇六八 一〇六九

一〇七〇 一〇七一 一〇七二 一〇七三

高齋

よく(欲)

末四九六

よくしやうがこく(欲生我國)

欲生 我國 本六五

よくしゆおしやうぎやうしやうじよにこふちうゆぼうおじ

よごふ(欲修於正行正助二業)

中猶傍於助業 欲修於正行正助二業中 猶傍於助業 本二二

よくじようぐんまう(欲拯群萌)

欲拯 群萌 末四九六

よくにふじやうどもん(欲入浄土門)

欲入 浄土門 末二二

よくよく(善善)

ヨク、 本一四

よくわうじやう(欲往生)

よくんみやうよくわうじやう 欲往生 本三六

よごさま(横様)

ヨコサマ 本一八二

よごさまに(横様)

ヨコサマニ 本九六

よごどうりん(与其同倫)

与其同倫 本九二

よし(良)

ヨク 本三六三

ヨシトイフ 本三三

ヨシトイフ 本三三

ヨコサマ 本一八二

末六六 末六九

本一八六

ヨコサマニ 本九六

よごどうりん(与其同倫)

与其同倫 本九二

よし(良)

ヨク 本三六三

ヨシトイフ 本三三

ヨシトイフ 本三三

よぶちけうさうおう(与佛教相應)

与佛教相應 本四四

より(助詞)

ヨリ 本八二

よる(依)

ヨリテ 本七五

ヨルトイフ 本四三

ヨルトナリ 本四四

ヨルカユヘナリト 末三二
よろこぶ(喜) 末三二
ヨロコヒウヤマフ 末三三
ヨロコフトイフ也 末三三
ヨロコフコ、ロ 末三三
よろづ(万) 末三三
ヨロツノ 本四四 末二二

り

り(利)

り(助動詞)

ノタマヘリ

イヘリ

アヒカナヘリ

アラハセリ

ノタヘリ

タマヘリ

タマヘル(連体法)

末四一六三九五

十二五四四

四一三三六六九

一七四一七四

本八一四二

本八三六

本八六

本九三

ノタマヘルナリ 本三三
末三三 末四二 四四 五

タマヘルニ 本五九

モテル人 本三三

モテルヲ 本三三

染香人 本三三

イエル御コ、ロ 本三三

アマルレモノ 本七一

イヘルコ、ロ也 本七一

誦セル文也 本六三

チラセルカコトク 本六三

オホエルナリト 末五九

モタルホト 末六四

ノタマヘル・ミコト末三三

りうじゆぼさち(龍樹菩薩)

龍樹菩薩 本四〇

りち(利智) ↓すいひりちし

やうじん 末四一

りどん(利鈍)

りやう(令)

りやう(梁) 本五五 末三六

りやうこく(梁國) 本三三

りやく(利益) 本八一

りやくしゆつ(略出) 本三三

りやくす(利益) 末三二

りやくせう(略抄) 末三二

りむじゆ(臨終) ↓さいごり

むじゆ 本八三 末二四

臨終 本三三

る

る(助動詞)

ヤフラレス 本八〇

ミタラレス 本八〇

ヒカレテ 本三三

ミラレ 本三三

オクラレタマヘル 本八七

本三三

本三三

本三三

ヨルカユヘナリト 末三二

よろこぶ(喜) 末三二

ヨロコヒウヤマフ 末三三

ヨロコフトイフ也 末三三

ヨロコフコ、ロ 末三三

よろづ(万) 末三三

ヨロツノ 本四四 末二二

来迎 本三三

らいがう(来迎)

らいす(礼)

礼シテ 本三三

礼シタテマツリ 本三三

礼シタテマツリテ 本三三

禮トイフハ 本三三

礼シマイラス 本三三

礼シ・マイラセケリ 本三三

らる(助動詞)

ラレサル也 本三三

ラレムト也 本三三

ラレムコト 本三三

オホハルレトモ末五三 奏6
るてんしやうじ (流転生死)
ルツシヤウジ

流転生死 本二七三

ろ

ろくぐわちにしふはちにち
(六月廿八日)

六月廿八日 末二一

ろくじ (六字) ↓しようぶち
ろくじ

六字 本二六

ろくだうししやう (六道四生)

六道四生 末四一

ろん (論)

ろん 本四三

ろんわち (論曰)

ろんわち 本四四

わ

わう (横)

わう 本二六

横 末五二

わう (王)

わう 本五五

わうじ (王子) ↓ほふわうじ

わうじやう (往生) ↓せふと
くわうじやう・もんみやう

よくわうじやう

往生 本七四

往生 末一三

往生 末二一

往生 本七五

往生 末二二

往生 スヘント 本二二

往生 セムト 本三二

往生 スト 末一六

わうじやうろん (往生論)

往生論 本四一

わうせちごあくしゆあくしゆ
じねんへい (横截五悪趣悪趣
自然閉)

横截五悪趣悪趣自然閉 本二一

わうてう (横超)

横超 本一六

わが (我)

ワカ 本六二

ワカ 末一七

ワカ 末一六

わがみ (我身)

ワカミ 本四四

末六一

わく (分)

ワカス 本七四

わこく (和国)

和国 本九五

和国 本九六

和国 本九七

わたる (渡)

ワタラセ 本八四

ワタラセ 本八五

わち (曰)

曰 本四二

われ (我)

ワレ 本四二

ワレ 末三

ワレ 末四

われら (我等)

ワレラ 本七五

ワレラ 末四三

ワレラカ 末五五

ワレラカ 末五四

る

る (違)

違 本三三

るげんしん (為現身)

違身 本四三

るしやくそんしししやくねむ
ぶちしいちもん (為釋尊之使
者弘念佛之一門)

為釋尊之使者・弘念佛之
一門 末七一

るぜんだうしさいたんくわん
しようみやうしいちぎやう
(為善導之再誕勸稱名之一
行)

再善導之再誕勸稱名之
一行 末七五

るやうしやう (永晴)

永晴 末三三

る

るしむす (廻心)

廻心シテ 末三三

説我得佛十方衆生至
心信樂欲生我國乃至
十念若不生者不取正覺
唯除五逆誹謗正法

本三二

2 ごとちほんぐわんりきもん
みやうよくわうじやうかい
しちたうひこくじちふたい
てん

(其佛本願力聞名欲往生皆
悉到彼國自致不退轉)
其佛本願力聞名欲往
生皆悉到彼國自致不退
轉

本三一

3 ひちとくてうぜちこわうじ
やうあんやうこくわうぜち
ごあくしゆあくしゆじねん
へいしようだうむぐごく
わうにむにんごくこくふぐる
やくるじねんししよけんし
ようしゆつ(必得超絶去往
生安養國横截五惡趣惡趣自
然閉昇道无窮極易往而无人

其國不道違自然之所牽抄
出)

必得超絶去往生安養國
横截五惡趣惡趣自然閉
昇道无窮極易往而无人
其國不道違自然之所牽
抄出

本三六

4 だいせいしほさちごめいも
んしゆりようごむぎやうに
のたまはくせいしねむぶち
ゑんづをえたりだいせいし
ほふわうじよごどうりんご
じふにほさちそくじゆぎき
ちやうらいぶちそくにびや
くぶちごんがおくわうじや
くごうがしやこふうぶちし
ゆつせみやうむりやうくわ
うじふにによらいさうけい
いちこふごさいごぶちみや
うてうにちぐわちくわうひ
ぶちけうがねむぶちぎむま
いないにやくしゆじやう
しむおくぶちねむぶちげん
ぜんたうらいひちちやうけ
んぶちぶちさることとほか

らずはうべんをからずじと
くしむかによせんかうに
んしんうかうけしそくみや
うわちかうくわうしやうご
むがほんいんぢいねむぶち
しむにふむしやうにんこむ
おしかいせふねむぶちにん
くろおじやうどいじやうり
やくしゆつ(大勢至菩薩御
銘文首楞嚴經言勢至獲念佛
圓通大勢至法王子與其同倫
五十二菩薩即從座起頂禮佛
足而白佛言我憶往昔恒河沙
劫有佛出世名无量光十二如
來相繼一劫其最後佛名超日
月光彼佛教我念佛三昧乃至
若衆生心憶佛念佛現前當來
必定見佛去佛不遠不假方便
自得心開如染香人身有香氣
此則名曰香光莊嚴我本因地
以念佛心入無生忍今於此界
攝念佛人歸於淨土已上略
出)

大勢至菩薩御銘文

首楞嚴經言勢至
獲念佛圓通
大勢至法王子與其同
倫五十二菩薩即從座起
頂禮佛足而白佛言我
憶往昔恒河沙劫有佛
出世名无量光十
二如來相繼一劫其最
後佛名超日月光彼佛
教我念佛三昧乃至
若衆生心憶佛念佛現
前當來必定見佛去
佛不遠不假方便自得
心得如染香人身有香
氣此則名曰香光莊
嚴我本因地以念佛心
入無生忍今於此界攝
念佛人歸於淨土已上
略出

本三三

5 りうじゆほさちごめいもん
じぶちゆびしやろんにい
はくにんのうねむせぶちむ

りやうりきくどくそくじに
ふひちぢやうぜこがじなや
うねむにやくにんぐわんさ
ぶちしむねむわみだおうじ
るげんしんぜこがくみや
うもん(龍樹菩薩御銘文十
住毗婆沙論曰人能念是佛无
量力功德即時入必定是故我
常念若人願作佛心念阿弥
應時為現身是故我歸命文)

龍樹菩薩御銘文
十住毗婆沙論曰
人能念是佛 无量力功
德 即時入必定 是故我常
念 若人願作佛 心念阿弥
陀 應時為現身 是故我歸
命文 本三二

6 ばそはんづぼさちろんわち
せそんがいちしむくみみや
うじんじふほうむげくわう
によらいぐわんしやうあん
らくこくがえしゆたらしん

じちくどくさうせちぐわん
げそうぢよぶちけうさうお
うぐわんびせかいさうしよ
うぐわさむがいだうきや
うによこくくわうだいいむへ
んざい(婆藪般豆菩薩論曰
世尊我一心歸命盡十方无碍
光如来願生安樂國我依修多
羅眞實功德相說願偈捨持與
佛教相應觀彼世界相勝過三
界道究竟如虛空廣大无邊
際)

・婆藪般豆菩薩
論曰・世尊我一心・歸
命盡十方・无碍光如
来・願生安樂國・我依
修多羅・眞實功德相・說
願・偈捨持・與佛教相應・
觀・彼世界相・勝過三界
道・究竟如虛空・廣大
无邊際 本四二

7 またいはくくわんぶちほん

ぐわんりきぐむくくわしや
のうりやうそくまんぞくく
どくだいほうかい(又曰觀
佛本願力遇无空過者能令速
満足功德大實海)
又曰・觀・佛本願力・遇
无空過者・能令・速満足・
功德大實海・ 本三三

8 せいてうのどむらんくわし
やうのしんざうのめいもん
しやくのどむらんほふしは
へいしうほちしめくゑんの
ひとなりぐゑのすゑかうせ
いのはじめなほいましきし
んちかうゑんにしてさむこ
くにちもんすあきらかにし
ゆきやうをさとることひと
りじんくわいにいてたりり
やうこくのてんしさうわう
つねにきたにむかてらんぼ
さちとらいすわうじやうろ
ん(を)ちゆげしてりやう
くわんにことほりなすこと
しやくのかさいのさむくわ
んのじやうどろんにいでた

るなりもん(齋朝曇鸞和尚
眞像銘文釋曇鸞法師者并州
汶水縣人也魏末高齋之初猶
在神智高遠三國知聞洞曉衆
經獨出人外梁國天子蕭王恒
向北禮鸞菩薩註解往生論裁
成向卷事出釋迦才三卷淨土
論也文)

齋朝・曇鸞和尚・眞
像銘文・釋・曇鸞法師
者・并・州汶水縣人
也・魏末高齋之初・猶
在・神智高遠・三
國・知聞・洞曉
衆經・獨出・人外・
梁國・天子蕭王恒・向
北・禮・三・變菩薩・註・解
往生論・裁・成・向・卷
一事・出・釋・迦才・三

卷 淨土論 一也文

本三六

9 たうてうくわうみやうじの
ぜんだうくわしやうのしん
ざうのめいもんちるみやうぜ
んだうのべちとくをほめた
まふていはくぜんだうはわ
みだぶちのくゑしんなりぶ
ちのろくじをしようせばす
なはちぶちたんずるなりす
なはちさむぐゑするなりす
なはちほちぐわんゑかうな
りいちさいじやうどをぜん
ごんしやうごむするなりも
ん(唐朝光明寺善導和尚眞
像銘文智榮讚善導別徳云善
導阿弥陀佛化身稱佛六字即
嘆佛即懺悔即發願廻向一切
善根狂嚴淨土文)
唐朝光明寺善導和
尚眞像銘文
智榮讚善導別徳

一云善導阿弥陀佛化

身稱佛六字即

嘆佛即懺悔

即發願廻向一切善根

莊嚴淨土文本六

10 ぜんだうくわしやうのいは

くごんなもしやそくせくゑ

みやうやくぜほちぐわんゑ

かうしぎごんわみだぶちし

やそくせごぎやういしぎこ

ひちとくわうじやうもん

(善導和尚云言南无者即是

歸命亦是發願廻向之義言阿

弥陀佛者即是其行以斯義故

必得往生文)

善導和尚云言南无者
即是歸命亦是發願廻
向之義言阿弥陀佛者
即是其行以斯義故必
得往生文 本六四

りやうじゆきやうしじふは

ちぐわんちうせちぶちごん

にやくがじやうぶちじふは

うしゆじやうぐわんしやう

がこくしようがみやうじげ

しじふしやうじようがぐわ

んりにやくふしやうじや

ふしゆしやうがくしそくぜ

ぐわんわうじやうぎやうに

んみやうよくじゆじぐわん

りきせふとくわうじやうこ

みやうせふしやうぞうじや

うえんもん(又曰言攝生憎

上縁者如无量壽經四十八願

中說佛言若我成佛十方衆生

願生我國稱我名字下至十聲
乘我願力若不生者不取正覺
此即是願往生行人命欲終時
願力攝得往生故名攝生増上
縁文)
又曰言攝生増上縁
者如无量壽經四十八
願中說佛言若我成
佛十方衆生願生我
國稱我名字下至十

聲乘我願力若不生

者不取正覺此即是願

往生行人命欲終時

願力攝得往生故名攝

生増上縁文 本六三

12 またいはくごんごねむぞう

じやうえんじやないしたん

うせんねむわみだぶちしゆ

じやうひぶちしむくわうじ

やうせうぜにんせふごふし

やそうふるんせうせふよぎ

ふごふぎやうじやくぜ

げんしやうごねむぞうじや

うえんもん(又曰言護念増

上縁者乃至但有專念阿弥陀

佛衆生彼佛心光常照是人攝
護不捨捨不論照攝餘雜業行
者此亦是現生護念増上縁
文)
又曰言護念増上縁者
乃至但有專念阿弥陀佛衆
生彼佛心光常照是人
攝護不捨不論
照攝餘雜業行者此

亦是・現生護念増上

縁・文 本三十一

13 くわうたいししやうとくご

めいもんごえんぎにいはいはく

はくさいこくせいめいめいわう

たいしあさらいしてまうさ

くきやうらいくせだいいじく

わんおむぼさちめうけうる

づとうはうにちほんこくし

じぶくさいでんとうえんぜ

ちもんしんらくのしやう

にんにちららいしてまうさ

くきやうらいくせくわんお

むだいぼさちでんととう

はうそくさんわうもん(皇

太子聖德御銘文御起曰百濟

國聖明王太子阿佐禮曰敬禮

救世大慈觀音菩薩妙教流通

東方日本國四十九歳傳燈演

說文新羅國聖人曰羅禮曰敬

礼救世觀音大菩薩傳燈東方

粟散王(文)

皇太子聖德御銘文

御縁起曰百濟國聖

明王太子阿佐禮曰

敬礼救世大慈觀音菩

薩妙教流通東方日本

國四十九歳傳燈演說

文

新羅國聖人曰羅禮

曰

敬礼救世觀音大菩

薩傳燈東方粟散王

文 本三六

14 しゆりようごむんぐゑん

しんくわしやうのめいもん

がやくざいひせふしゆしち

うぼむなうしやうげんすい

ふのうけんだいひむくゑん

じやうせうがしんもん(首

楞嚴院源信和尚銘文我亦在

彼攝取之中煩惱眼雖不能

見大悲无倦常照我身(文)

首楞嚴院源一信和

尚ノ銘文

我亦在彼攝取之中煩惱

眼雖不能見大悲

无倦常照我身

末三二

15 しめいさんごんりちしりう

くわんさんふくわんだうぞ

くねむみだぶちのうねむか

いけんくゑぶちぼさちみや

うちしようみやうわうじや

うえうじゆちぎさいぐゑん

くぼだうくゑもちしんじゆ

ざいむしむせうめいきや

うぎうんるやうしやうぶち

くわうゑんちやうけんりや

くにむしんさむぐわついち

にち(四明山權律師劉官讚

普勸道俗念弥陀佛念皆見

化佛菩薩明知稱名往生要術

宜哉源空慕道化物信珠在心

心照迷境疑雲永晴佛光圓頂

建曆壬申三月一日

四明山權律師劉官讚

普勸道俗念弥陀佛念

念皆見化佛菩薩明知

末七二

稱名往生要術宜

哉源空慕道化物信珠

在心心照迷境疑雲永

晴佛光圓頂建曆

壬申三月一日

末七二

16 ひえいざんえんりやくじほ

うどうゑんくろだにぐゑん

くしやうにんのしんごうせ

んちやくほんぐわんねむぶ

ちしふにいはいくなもわみだ

ぶちわうじやうしごふねむ

ぶちゑんほんもん(比叡山延

曆寺寶幢院黒谷源空聖人眞

像選擇本願念佛集云南无阿

弥陀佛往生之業念佛為本

文

比叡山延曆寺寶幢院

黒谷源空聖人眞像

選擇本願念佛集云

南无阿弥陀佛往生之

業念佛為本文末五二

17 またいはくふそくよくくりし

やうじにしゆししようほふち

うたんかくしやうだうもん
せんにふじやうどもんしやうざ
にふじやうどもんしやうざ
ふにぎやうちうたんはうし
よざふぎやうせんおうくろ
しやうぎやうよくしゆおし
やうぎやうしやうじよにこ
ふちうゆばうおじよごふせ
んおうせんしやうぢやうし
やうぢやうしごふしやそく
ぜしやうぶちみやうしやう
みやうひちとくしやうえぶ
ちほんぐわんこもん(又曰

夫速欲離生死二種勝法中且
闍聖道門選入淨土門欲入淨
土門正雜二行中且拋諸難行
選應歸正行欲修於正行正助
二業中猶傍於助業選應專正
定正定之業者即是稱佛名稱
必得生依佛本願故文)
又曰・夫速欲離生死・二
種勝法中且闍聖道門・
選入淨土門・欲入淨土
門・正雜二行中・且拋

諸難行・選應歸正行・
欲修於正行・正助二業
中・猶傍於助業・選應專
正定・正定之業者・
即是稱佛名・稱名必
得生・依佛本願故・文
末六一

18 またいはくたうちしやうじ
しけいぎぬしよしねちはん
しじやういしんるのうにふ
もん(又曰當知生死近家以
疑為所止涅槃之城以信為能
入文)
又曰當知生死近家・以
疑為所止・涅槃之城・以
信為能入・文 末七二

19 ほふいんせいかくくわしや
うのめいもんふこんうりど
むしやけううぜむとんきう
しやそくしやぎやううなん
いたうちしやうだうしよも
んぜむびやうやうなんぎやう
やじやうどいちしゆしやと
むびやうやういぎやうやしよ

ゐしんごんしくわんしぎや
うみこじやうなんがくさむ
ろんほふさうしけうごやう
げんいめいねんしがしゆし
やみだほんぐわんぢやうぎ
やういんおじふねむぜんだ
うれうけんくゑちきりやう
おさむしむすいひりちしや
うじんせんねむぢちいごむ
すいひたもんくわうがくし
んりきがふびないしねんが
だいししやうにんるしやく
そんししやぐねむぶちいち
もんぬぜんだうしさいたむ
くわんしようみやういちぎ
やうせんしゆせんねむしぎ
やうじしぜむぐむけんむよ
しごむざいこむしちねんそ
くはかいざいこんしはいか
けんにふわうじやうしだう
げちせんさいしるいしむひ
ふじやうどしもんじやうち
むみやうぢやうやしだいと
うこやがひちけんあむしや
うじたいかいしたいせむば

ちやきぼむごふしやうちう
りやくせう(法印聖覺和尚
銘文夫根有利鈍者教有漸頓
機有奢促者行有難易當知聖
道諸門漸教也又難行也淨土
一宗者頓教也又易行也所謂
眞言止觀之行獼猴情難學三
論法相之教牛羊眼易迷然至
我宗者弥陀本願定行因於十
念善導料簡決器量於三心雖
非利智精進專念實易勤雖非
多聞廣學信力何不備然
我大師聖人為釋尊之使者弥
念佛一門為善導之再誕動稱
名一行專修念之行自此漸弱
無間無餘之勤在今始知然則
破戒罪根之輩加肩入往生之
道下智淺才之類振臂赴淨土
之門誠知无明長夜之大燈炬
也何悲智眼闍生死大海之大
船筏也豈煩業郭重略抄)
法印・聖覺和尚ノ銘文
夫根有利鈍者・教有漸
頓・機有奢促者・行有

・難易・當知・聖・道諸門・
 漸教也・又難行也・
 淨土一宗者・頓・教一也・
 又易行也・所謂眞言止
 觀之行・獼猴情・難學・
 三論法相之教・牛羊眼易
 迷・然至我宗者・弥陀本
 願・定行・因於十念・善
 導料簡・決・器量・於三
 心・雖非利智精進・專念
 實易勤・雖非多聞廣學・
 信力何不備・乃然我大師
 聖人・為釋尊之使者・
 彌念佛一門・為善導之再
 誕・勤・稱名一行・專
 修念之行自・此漸弱無・
 無間無餘之勤・在今始
 知・然則破戒罪根之輩・
 加肩入往生之道・下智淺
 才之類・振臂赴淨土之

門・誠知無明長夜之大
 燈炬也・何悲智眼闇・生
 死大海之大船筏也・豈煩
 業耶 重略抄 末壹5

20 わてうぐとくしやくのしん
 らんがしやうしんげのもん
 ほんぐわんみやうがうしや
 うぢやうごふししむしんげ
 うぐわんぬいんじやうとう
 かくしやうだいにちはんひ
 ちしめちどぐわんじやうじ
 ゆによらいしよいこうしゆ
 つせゆいせちみだほんぐわ
 んかいごぢよくあくじぐん
 しやうかいおうしんによら
 いによじちごんのうほちい
 ちねむきあいしむふだんぼ
 むなうとくねちはんぼむし
 やうぐるやくばうさいゑに
 ふによしゆしるにふかい
 ちみせふしゆしむくわうじ
 やうせうごいのうすいはむ
 みやうあむとむあいしんぞ
 うしうんむじやうふくしん

じちしんじむてんひひによに
 ちくわうふくうんむうんむ
 しげみやうむあむくあやく
 しんけんきやうとくだいき
 やうそくわうてうせちごあ
 くしゆもん(和朝愚禿釋親
 鸞正信偈文本願名号正定業
 至心信樂願為因成等覺證大
 涅槃必至滅度願成就如來所
 以興出世唯說弥陀本願海五
 濁惡時群生海應信如來如實
 言能發一念喜愛心不斷煩惱
 得涅槃凡聖逆誘齋廻入如衆
 水入海一味攝取心光常照護
 已能雖破无明闇貪愛瞋憎之
 雲霧常覆眞實信心天譬如日
 光覆雲霧雲霧之下无明闇獲
 信見敬得大慶即橫超截五惡
 趣文
 和朝愚禿釋親鸞
 正信偈文本願名号正
 定業・至心信樂願為
 因・成等覺證大涅槃・

必至滅度願成就・如來
 所以興出世唯說弥陀本
 願海・五濁惡時群生
 海・應信如來如實言・能
 發一念喜愛心・不斷煩惱
 得涅槃・凡聖逆誘齋廻
 入・如衆水入海一味・攝
 取心光常照護・已能雖
 破无明闇・貪愛瞋憎之雲
 霧・常覆眞實信心天・譬
 如日光覆雲霧・雲霧之下
 明无闇・獲信見敬得
 大慶・即橫超截五惡趣・
 文 末壹6